

日 時	発 表 者	連絡先	発表・配布先
令和7年7月25日（金）	（公財）ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 水島 豪士 （成長支援課長 中筋 雅之）	078-977-9118	

「成長期待企業」（2025年度第1四半期選定）の情報提供について

（公財）ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の2社（累計622社）を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

1 （株）GMJ（タイヤ金型設計製造、産業用機械部品加工）

あらゆるタイヤ金型のスペシャリスト！

（1）沿革等

- 同社は、1953年（昭和28年5月）に神戸市長田区において合田鉄工所として創業した。1988年（昭和63年4月）に加古郡稲美町六分一に稲美工場を設ける。1997年（平成9年6月）に株式会社合田鉄工所を設立。2005年（平成17年6月）に加古郡稲美町六分一1295-7に本社を移転。2007年（平成19年6月）に社名を株式会社GMJに変更し、現在に至る。

（2）当社の特徴

- 同社は、加古郡稲美町でタイヤ金型の製造を行っている事業者である。1953年の創業以来、車両用タイヤの金型製造業者として、小型から大型までの多品種の金型を高品質・低コスト・短納期で提供しており、半世紀にわたり順調に業績を伸ばしている。2002年には、県内では初めて大型の6軸マシニングセンタを導入した。
- 同社は、設計図面から3Dモデル、NCデータを作成し、大型の6軸同時制御マシニングセンタにて、他社では加工することができない超大型の産業用タイヤなどの金型を製作する事が可能である。また、金型の構造を深く理解しているため、破損した金型や改造に関して、顧客の意図を理解し、最善の修理や改造案を提案できることも強みである。



大型の門型マシニングセンタ（6軸同時制御）



タイヤ金型（乗用車、トラック&バス用）

（3）今後の展開

- 品質マネジメントシステムの運用や製造標準時間の再設定・工程の見直しなどの改善活動により、さらなる金型の高品質・低コスト・短納期化を追求する。製品のライフサイクルの長期化等による既存金型の改造や修理依頼の増加などにも迅速に対応し、市場の深耕を図る。

【（株）概要】

代 表 者： 合田 新一郎
資 本 金： 1,000万円
従業員数： 36名（内パート1名）
所 在 地： 加古郡稲美町六分一1295-7
設 立： 2007年（平成19年）6月
電話番号： 079-495-3301
ホームページ： <https://g-m-j.co.jp/>



2 サカモトメタル(株) (電線リサイクル)

電線や非鉄金属のリサイクルを通じ社会に貢献する！

(1) 沿革等

- 同社は、1988年(昭和63年)に先代が金属卸売業の坂本商店を創業。2002年(平成14年)に有限会社サカモトを設立した。2005年(平成17年)に本社を多可町加美区多田に移転。2009年(平成21年)にサカモトメタル株式会社に組織変更し、現代表の坂本規文氏が代表取締役役に就任した。2014年(平成26年)に第2工場を設立し、ナゲット機増設により2ライン体制とし、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- 同社は、主に建設現場や解体現場等で発生する使用済の電線から高品質なナゲット銅をリサイクル生産した後、国内の大手金属商社に売却している。被覆銅線や電線くず等の銅を中心に取り扱い、業界内での知名度も高く、兵庫県内外に取引先を有すると共に国内大手金属商社との長年の信頼関係により、安定的に販売先を確保している。
- 同社は、独自の銅リサイクル処理ライン(2軸破砕機・磁力選別機)と長年蓄積してきた知識・経験・処理ノウハウを有しており、他社が対応できない極細の微細銅線から直径10cm程度の太い電気ケーブルまで、あらゆる線種のリサイクルが可能である。



加工された高品質の赤ナゲット(左)、雑ナゲット(右)



銅リサイクル処理ライン



ビニール等で覆われた被覆銅線

(3) 今後の展開

- 従業員の肉体的・精神的な負担の軽減や生産性の向上を図るため、処理ラインの完全自動化を目指す。また、銅線を覆うポリ塩化ビニールを再生ビニールとして再資源化する「被覆銅線の完全リサイクル化」も目指している。リサイクルを通じて自社の売上増を図るとともに循環型社会の一翼を担い、リサイクル業界の地位向上に貢献していく。

【(株) 概要】

代 表 者： 坂本 規文
資 本 金： 300万円
従業員数： 10名 (内パート1名)
所 在 地： 多可郡多可町加美区多田 9 0 - 1
設 立： 2002年 (平成14年) 6 月
電話番号： 0795-35-1136
ホームページ： <https://u-sakamoto.net>



〔参考〕成長期待企業について

1 概 要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、600社を超える中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間に於いて、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載